

令和3年度 阪本小学校における重点目標	
中央区阪本小学校 住所 中央区日本橋兜町15-18 校長 小川 優 児童数 168名 学級数 6 教員数 20名 職員数(教員を除く) 20名	
教育目標 ○思いやりのある子 ○よく考える子 ○たくましい子	
重点目標1 自ら考え共に学ぶ子どもの育成 評価項目：①学び合いや体験を重視した課題解決型学習の実施 ②少人数指導や個に応じた指導の充実 ③ICT教育・プログラミング教育の推進・充実 ④学習習慣の確立 評価指標：①国・都・区の学力調査等において、正答率の活用領域(国)70% 読み解く力(都)75% 活用(区)75%を達成する。 ②個の課題をとらえ、個別に指導する時間を設定する。 ③年間1回教員全員がICT教育・プログラミング教育に関わった授業を公開する。 ④「自分から課題をもち、友達と協力して学習に取り組んでいる」という肯定的回答90%以上を達成する。(保護者アンケート)	
重点目標2 温かい人間関係を育む教育の充実 評価項目：①縦割り班活動や檜原村立檜原小学校との交流活動を推進 ②元気のよい挨拶や返事の励行 ③人権を認め合う受容的な学校風土の形成 ④道徳授業の充実 評価指標：①縦割り班活動や交流活動の実践や振り返りを行い、改善を図る。 ②「あいさつをしている」という肯定的回答90%以上を達成する。 (児童アンケート) ③「先生は学校での悩みなどについて話しやすい。」という肯定的回答80%以上、「友だちと仲よく生活している。」という肯定的回答95%以上を維持する。 (児童アンケート) ④「道徳等の授業を通して思いやりの心が育っている」という肯定的回答90%以上を達成する。(保護者アンケート)	
重点目標3 地域の特性を生かした特色ある教育活動の推進 評価項目：①日本の伝統文化理解教育の推進 ②金融教育・法教育の充実 ③オリンピック・パラリンピック教育の推進 評価指標：①邦楽教育を年間で推進する。年1回、地域・保護者へ演奏を公開する。 ②「コレド阪本」の取組状況や活動の振り返りを行い、改善を図る。 ③年1回以上オリンピック・パラリンピックに関わる講師を招いて授業を実施する。	
家庭や地域との連携 ・学校公開、保護者会、学校だより、ホームページおよび家庭に持ち帰るタブレット端末等を活用し、積極的に情報を発信・共有し、本校の教育への理解を深める。 ・教育活動の推進に当たっては、保護者や地域の協力を得ながら、内容の充実を図る。 ・地域教材・人材を活用した授業を進め、地域・企業の方と積極的に関わりをもつ。	